

江東区立小学校6年生・義務教育学校6年生の皆さんへ  
江東区立中学校3年生・義務教育学校9年生の皆さんへ

臨時休業から始まった令和2年度、それぞれの学校での最高学年となる皆さんの最後の1年間は、本来であれば様々な行事を経験しながら、多くのことを学び、たくさんの思い出をつくることができたはずでした。

しかし、運動会や文化祭、部活動の大会等、様々な行事が中止になり、皆さんには本当に悲しい思いをさせてしまいました。そのような状況の中、何とか修学旅行や移動教室は実施させてあげたいと思い、校長先生方とも話し合いを続けてきました。

6月末から、みんなで登校できるようになり、新しい生活様式の下、学校生活も少しずつ日常を取り戻し始めました。宿泊行事についても、感染症対策を講じた上で実施できないか、実施に向けて、さらに話し合いを重ねてきました。しかし、皆さんも知っているように、新型コロナウイルス感染症に<sup>かん</sup>り患された方の数は、増えてしまっている現状です。特に、人口が多く、人々の往来も多い東京都では、その数は突出しています。

最終的には、皆さんの健康と命を最優先に考えました。宿泊先で感染したらどのように対応すればよいか、感染症対策をしながらどのような活動ができるのか…。しかし、これなら大丈夫と納得できる安全対策は見つかりませんでした。そして、何より心配したのは、もし、皆さんのうちの誰かが宿泊行事の直前に感染してしまったら…。ということです。校長先生方も私たちも、誰にもつらい思いや悲しい思いをさせたくないと考えました。皆さんや保護者の方の心配する声、また、実施してほしいという声も届きました。すべてを総合的に判断して、今年度の修学旅行や移動教室も中止することにしました。これまで、宿泊行事を楽しみにして、準備を進めて来た学校も多いと思います。本当にごめんなさい。

しかし、ほとんどすべての行事が中止になってしまう中、皆さんにすてきな思い出を一つでも多く残してもらいたいと思い、「思い出プロジェクトKOTO2020」と銘打って、新たな行事に取り組めるようにします。内容は、皆さんが先生方と相談しながら考えてください。心に残る楽しいことに取り組んでもいいですし、みんなで何かを作り上げても、記録に挑戦してもいいです。お世話になった方への恩返しでも構いません。皆さんのアイデアと行動が皆さん自身を成長させ、これまでにないすてきな思い出となり、学校の下級生や保護者・地域の皆さん、もしかしたら世界中の人々の心に響くことになるかもしれません。

新型コロナウイルス感染症のために、「できないこと」が増えてしまいました。でも、感染症対策をしながらでも「できること」はたくさんあるはずです。皆さんが熱い思いをもって挑戦することで、可能性は無限に広がっていきます。

皆さんが、心をつなげて、それぞれの学校で最高の思い出ができることを願っています。私たち、教育委員会は先生方と協力しながら、皆さんをサポートしていきます。

江東区教育委員会 教育長 本多 健一郎